

1月24日

まちにやさしい子どもたちの行動

～ みんなが住みよいまちづくりをする子どもたち ～

広報「日の出」（令和5年1月号）で、本宿小学校の3年生が通学路付近の駐車場に不法投棄された大量のごみを見つけ、通学安全ボランティアの方等と協力して大きなごみ袋一袋分ほどのごみを拾い、町をきれいにしてくれた記事が掲載されました。子どもたちは「日の出町をきれいにしたい。」という思いを語っていました。

その後、昨年10月21日の朝、登校中の4年生児童数名が自主的にごみを拾ってきてくれました。さらに素晴らしいのが、その日だけでなくその後も毎日のように拾ってきてくれていることです。継続して取り組むことは決して簡単なことではありません。4年生の行動は、本宿小学校の全校朝会で紹介されました。



すると、4年生の行動を知った1年生数名が、昨年12月13日の朝、登校後、昇降口が開くまでの時間を使って校庭に落ちていたごみを自主的に拾ってくれました。その後、ごみ拾いの活動は他の学年にも広がっています。

このことは、本宿小学校ホームページ「本宿小ニュース（外部リンク）」でご覧いただけます。



子どもは家族の愛情に生まれ、学校での多様な活動を通して学び、地域の自然、歴史や文化、人々との触れ合いの中で成長します。

このような子どもたちの「私たちの住む地域、日の出町をきれいなまちにしたい。」という思いは、家庭教育、学校教育、社会教育の中で生まれ、それが具体的な態度や行動に現れ、その結果、「ひとにやさしく住みよいまちづくり」に向けた行動につながりました。

このような「まちにやさしい子どもたちの行動」から多くのことを学び、これからも「共に学び支え合いみんなで創る日の出町の教育」の推進に生かしていきたいと考えています。